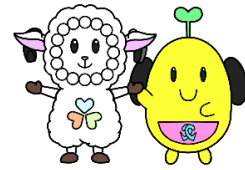


進路通信 No. 2

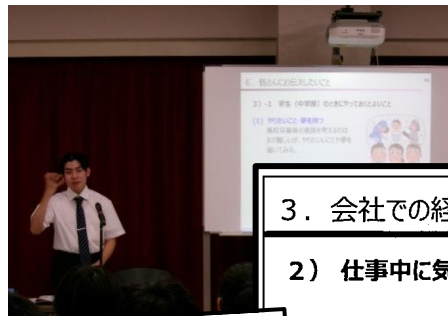


進路講演会の報告

6月21日(金)に3名の講師を招いて実施しました。今年度は中学部、高等部全員参加で行い、生徒たちは真剣に聞いていました。講演会で聞いたことを今後の学校生活での学習にいかし、様々な力を身につけていってほしいです。

【講話Ⅰ】 「仕事をする上で大切なこと～社会にでるまでに身につけておくべき力～」

株式会社豊田自動織機 卒業生 大西 悠 様、人事部 岡田 由紀子 様



大西様からの話

3. 会社での経験

2) 仕事に気を付けていること(大切にしている・意識していること)

- (1) 報連相
確実に行う

- (2) 焦らずていねいに作業をおこなうこと
生産計画、時間より品質を優先

- (3) あいさつは大きな声ですること

報告 連絡 相談



©TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION All Rights Reserved

7. 豊田自動織機が求める人材

1) 仕事をする(社会人になる)ために

- 時間・ルールを守る
- 責任感がある (自分の言動・行動に対して)
- 基礎学力・常識がある
- 成長意欲・改善意欲をもつ (個人の成長が会社の成長)

2) 生産現場で仕事をするために

- 親元から離れ、厳しい環境下で、がんばる意志・やる気がある
- 体力・持続力がある

3) チームで仕事をするために

- 礼儀正しい (敬語、あいさつ)
- 自らコミュニケーションできる (自分から話しかける・質問する)
- 他者に協力できる

©TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION All Rights Reserved

岡田様からの話



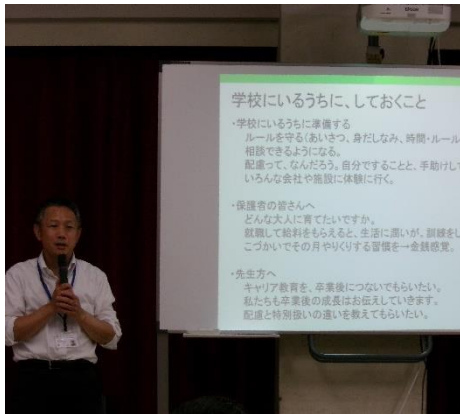
この他に・・・

・入社してから必要だと思ったこととして、「健康管理」「社会人になる心構え(何かあった時の責任は学生より社会人の方が重い)」

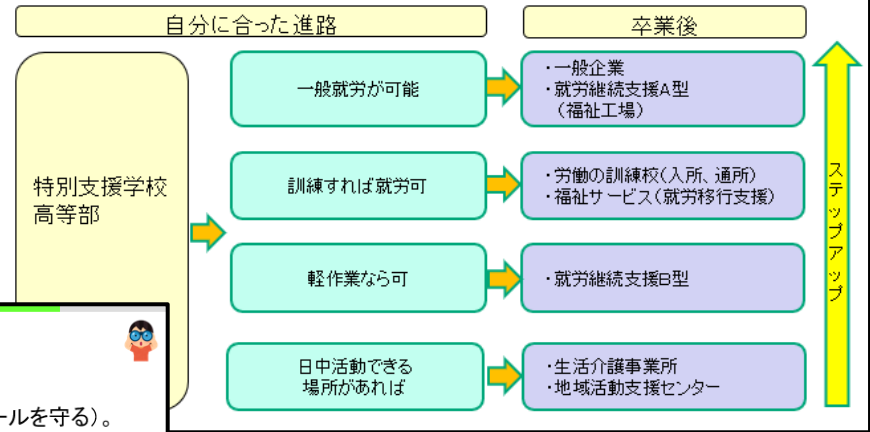
・学生のときにやっておくとよいこととしては、①体力と忍耐力を身につけること、②苦手の克服、③体調管理方法
などの話をいただきました。

【講話Ⅱ】 「働く大人になるために」

兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター
多機能型事業所あけぼのの家 課長 森 一人 様



卒業後の進路

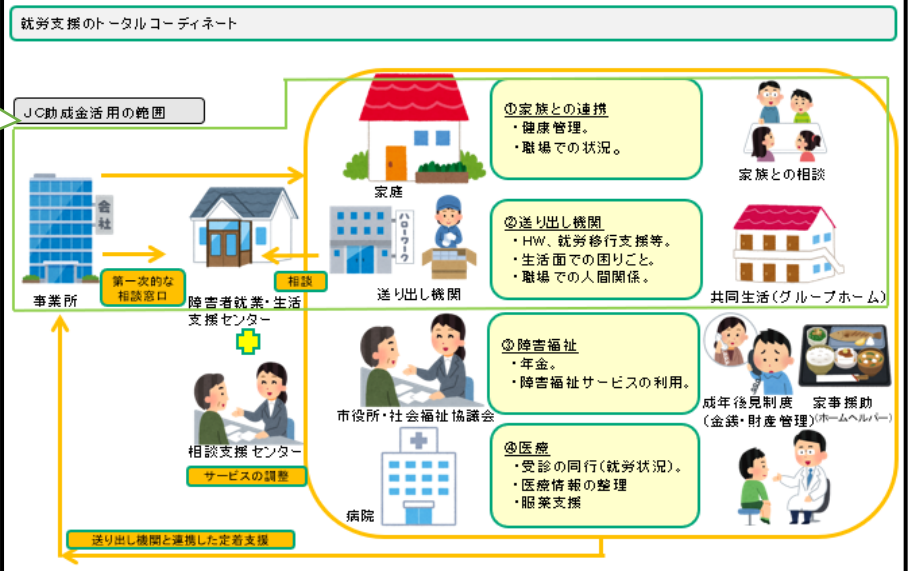


学校に在学中に、しておくこと

- ・学校に在学中に準備する
ルールを守る(あいさつ、身だしなみ、時間・ルールを守る)。
相談できるようになる。
配慮って、なんだろう。自分ですることと、手助けしてもらうこと。
いろんな会社や施設に体験に行く。
- ・保護者の皆さんへ
どんな大人に育てたいですか。
就職して給料をもらえると、生活に潤いが。訓練をしてから働く。
こづかいでその月やりくりする習慣を→金銭感覚。
- ・先生方へ
キャリア教育を、卒業後につないでもらいたい。
私たちも卒業後の成長はお伝えしていきます。
配慮と特別扱いの違いを教えてください。

就労した方たちをたくさん見てこられた森様からのアドバイスです。学校に在学中にどのようなことが大切なのか、どのような力を身につければよいのか考えていきましょう。

障害者就業・生活支援センターの役割



障害者就業・生活支援センターは「就ポツ」と呼ばれています。本校でも卒業後のために、在学中から居住地の就ポツと顔合わせを行っています。

【生徒の感想】

・講演の話をお聞きし、悔いのない自分の人生になるために、今のうちに自分の位置を確認することがとても大切だと実感しました。

【保護者の感想】

・大西さんの堂々としたお話しぶり素晴らしかったです。社会にでるにあたり、何をすれば役に立つかを具体的に教えていただき、今後子どもが成長するにあたり話していこうと思いました。
・実際に体験談を聞かせていただき、子どもを育てていく上でとても今後の参考になりました。